

利用学習計画書

平成25年4月8日

担当 第6学年 五十嵐 姿子

1 ねらい

- ・自分の住んでいる地域の歴史を調べ、歴史に興味・関心をもつ。
- ・旧石器時代・縄文時代のくらしの様子に関心をもつ。

2 評価

旧石器時代・縄文時代のくらしの様子に関心をもって見学したり、学習ノートにメモしたり、一生懸命体験活動に取り組んだりすることができる。

3 学習活動について

[社会科] 日本の歴史「歴史博物館へ行ってみよう」

身に付けさせたい力・・・社会的事象への関心・意欲・態度

4 事前指導

- ・それぞれの施設での見学・体験について
- ・注意事項について
- ・5年時…縄文・弥生時代についての予備学習

5 当日の指導（活動）内容

（1）見学学習

- ・地底の森ミュージアム 地下展示室見学
1階展示室見学（学習ノート利用）
- ・縄文の森広場 ガイダンス施設・復元住居見学（学習ノート利用）

（2）体験学習

- ・地底の森ミュージアム 石器づくり
- ・縄文の森広場 勾玉づくり

6 当日の交通手段 貸し切りバス

7 事後指導

学習ノートを利用した振り返りとまとめ

利用学習報告書

平成25年4月30日

担当 第6学年 五十嵐 姿子

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年 4月11日(木) 1校時～5校時

(2) 主な内容

社会の歴史学習で、旧石器時代・縄文時代の人々の生活の様子を知る。

2 送付する資料

児童生徒の学習後の感想(4点 4名分)

(児童生徒の感想の一部より)

○私は、あまり古い時代のことや歴史には興味がありませんでした。今の時代を楽しく生きていれば良いかなと思っていました。でも、校外学習で歴史を勉強したり、石器づくりや勾玉づくりを体験したりして、もっと昔の人々の暮らしを知りたいと思うようになりました。

○私は、この時代に生まれて旧石器時代や縄文時代と違って自分の手で狩りをしていません。だから毎日食べられる量も一定で、何よりスーパーに行ったら全て売っています。旧石器時代や縄文時代の人と比べたら、食べ物に対するありがたみの気持ちがうすい気がします。これからは「いただきます」のおもみを感じてあいさつをしたいです。このようなことまで学ぶことができるので歴史が好きになりました。

○縄文時代の人々は、人と協力して竪穴式住居をつくったのです。やはりその中で必要なのは「協力」だと思います。人と協力すると何でもできるのだと、ぼくは思いました。少しおおげさかもしれませんが、大げさなくらい、ぼくは「すごい」と思ったのです。これから、困っている友達がいたら、協力して解決していきたいです。この校外学習を通じて、もっと歴史を知りたいと思いました。

○今ある様々な文化は、縄文時代からあるものが多いのではないかな。そう思うと縄文人を尊敬してしまう。もっと原始時代を知りたいので、家族ともう一度地底の森ミュージアムや縄文の森広場に行ってみたい。